



ロータリー 平和センター プログラム

ロータリアンのための手引き
2014-16



平和な世界を築いていくには、さらに多くの平和構築者が必要です。

ロータリーの平和プログラムであるロータリー平和センターでは、選り抜かれた関連分野の専門家が、平和構築の知識とスキルを磨くために、強い熱意をもって研究に励んでいます。これらの優秀な平和フェローを探す上で重要な役割を担うのがロータリアンです。明日の平和構築者を育てるためにも、平和フェローの推薦にどうかご協力ください。



本資料は、「ロータリー平和センタープログラム：ロータリアンのための手引き」の2014年版です。発行時において正確な情報を掲載していますが、ロータリー財団管理委員会の決定によって内容が変更される場合があります。最新情報は、ウェブサイト (www.rotary.org/ja/support-peace-centers) をご覧ください。

目次

はじめに	1
平和センターの目的	1
提携大学とプログラム	1
申請資格と選考基準	4
資格に関する制約	4
留学国	5
大学からの入学許可	5
資金源	6
候補者の募集と選考	6
地区による選考と推薦 (必須)	7
クラブによる面接と推薦 (任意)	8
申請手続き	8
申請前のチェックリスト	9
地区の選考委員会と選考手続き (必須要件)	9
候補者との面接:どこに注目するか	10
世界競争制に基づく選考	11
プログラムのスケジュールと締め切り	11
リソース	12
補遺	
A:面接の質問例	12
B:地区による面接・推薦フォーム	13

はじめに

ロータリー平和センターは、平和構築に力を入れるロータリアンの支援を受けて、大きな成果を挙げました。開始10年で900名以上のフェローが平和センターで学び、現在、さまざまな機関・団体の要職に就いて、平和をめざす任務に取り組んでいます。また、平和フェローとして平和構築に貢献すると同時に、年々発展しているロータリー学友ネットワークの一員として、世界各地で好ましい影響を生んでいます。

本手引きは、ロータリー平和フェローシップ（平和センターで学ぶための奨学金）の申請資格、申請方法、平和センターの運営資金について、ロータリアンが知っておくべき情報を包括的に説明しています。また、平和センターの末永い活動を支えるために、ロータリークラブや地区にできる支援方法も紹介しています。

平和センターの目的

ロータリー平和センターの使命は、理論と実地研修を合わせた教育と、世界的ネットワークの活用を通じて、平和構築に必要とされる専門知識とスキルを養う機会を提供し、平和の担い手となる人材を育てることです。毎年、最高100名のロータリー平和フェローが選ばれ、平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証プログラム、または平和と安全保障分野の修士号プログラムで学ぶためのフェローシップ（費用全額を賄う奨学金）が提供されます。平和センターで養った知識とスキルは、世界各地の地域社会で平和と紛争解決に向けた活動を実施するための力となります。

平和フェローシップの対象となるのは、国際関係、平和、紛争解決の分野の職歴を有し、国際的または地域社会での人道的活動や平和活動に取り組む熱意がある人です。そのため、関連分野での職歴や経験がほとんどない大学新卒者を対象とするものではありません。

提携大学とプログラム

6つのロータリー平和センターは、世界6カ国の著名7大学に設置されています（米国の平和センターは、デューク大学とノースカロライナ大学チャペルヒル校による共同運営）。各平和センターで独自のカリキュラムと実地研修が適用され、さまざまな方法で平和と紛争解決の研究が行われています。5つの平和センターで修士号プログラム、また1つのセンターで専門能力開発修了証プログラムが実施されており、いずれの大学でもコースは英語で提供されます。

奨学金プログラム	修士号取得プログラム	専門修了証取得プログラム
目的	明日のリーダーを育成	今日のリーダーを強化
期間	15～22カ月（大学により異なる）	3カ月
ロータリー平和センターの数	5	1
提携大学	デューク大学／ノースカロライナ大学 国際基督教大学 ブラッドフォード大学 クイーンズランド大学 ウブサラ大学	チュラロンコン大学
フェローシップ受領者数	最高50人（各平和センターに10人まで）	最高50人（1～4月コースと6～8月コース、各コース25人まで）
実地研修	夏季休暇中、2～3カ月の実践的なインターンシップ	カリキュラムの一環として2～3週間の実習

学科は大学によって異なり、平和研究、紛争解決、国際関係、国際開発政策、ジャーナリズム、環境問題、公共保健、教育、行政学、その他多くが含まれます。

入学要件やカリキュラムは大学ごとに異なるため、フェローシップの申請前に、志望大学の情報を詳細に調べることが大切です。各大学ウェブサイトへはリンクは、www.rotary.org/ja/peace-fellowshipsをご覧ください。

ロータリアンは、平和フェロー候補者にアドバイスを提供できるよう、各大学プログラムの特色を調べておくといでしょう。

チュラロンコン大学 タイ、バンコク

- 平和と紛争研究の分野における専門能力開発修了証
- 紛争解決と平和構築の分野の専門家が指導する3カ月集中コースで、講師陣と参加者双方の多様な経験が生かされる
- 平和構築と紛争解決の理論に基づいた実践テクニックを重視
- 大学から直接入学許可を取得する必要なし
- 学士号は不要
- 年に2回のコース：1～4月と6～8月

デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校 米国、ノースカロライナ州

- デューク大学またはノースカロライナ大学チャペルヒル校の平和と紛争予防／紛争解決に関連する修士課程カリキュラムを履修、ノースカロライナ大学からの国際開発の大学院修了証を取得

- デューク大学：国際開発政策プログラム。貧困緩和、管理の改善、人権、環境マネジメント、協調プロセスを通じての紛争予防を中心とする政策分析と維持可能な開発に関する学際的研究プログラム
- ノースカロライナ大学：幅広いプログラム。グローバル研究、都市および地方計画、教育、地理、ジャーナリズム、政治学、公共保健、民俗学、社会福祉学など。フェローは、入学許可を得た学部の必須コースを履修し、平和と紛争解決に関連した研究を専門分野とする。
- カロライナ学会誌 (Carolina Papers Series) に修士論文を提出できる
- 期間は、8月からの21カ月間

国際基督教大学

日本、東京

- アーツ・サイエンス研究科 (平和研究、行政学、国際関係、社会研究、比較文化、メディアと言語、公共政策) における修士号
- 安全保障、紛争解決、宗教、紛争とヒューマンセキュリティ、ジェンダーと平和、平和と紛争解決の心理学、人権に関する特別コース
- 国際法、環境学、教育、識字に関する選択コース
- 国連大学のグローバルセミナーへの参加と選択コース交換互換制度
- 日本語能力は必須ではないが、日本語能力があれば大学で提供されているさまざまな科目を受講可能
- 期間は、9月からの22カ月間。7月から8月中旬までの日本語集中研修プログラム、または8月のサバイバル特訓クラスに参加

ブラッドフォード大学

英国、ウェストヨークシャー州

- 人文科学修士課程、平和研究学部
- 平和研究、紛争解決、アフリカにおける平和と紛争解決、国際政治ならびに安全保障、紛争防衛と開発研究に関するコース
- 大学職員と研究生は、国際安全保障研究グループ、政治および社会変化研究グループ、紛争解決センターの3つの主要分野で研究を実施
- 期間は、9月からの15カ月間

クイーンズランド大学

オーストラリア、ブリスベーン

- 政治学および国際問題研究科の国際関係 (平和と紛争解決) 修士課程
- 研究分野：人権、倫理と世界政治、軍備管理、世界の女性問題
- 期間は、2月からの16カ月間

ウプサラ大学

スウェーデン、ウプサラ

- 平和・紛争研究学部の平和・紛争研究修士課程
- 武力紛争の根源、拡大、解決を、科学的方法で考査、調査、分析
- 地域、国、世界レベルでの戦争、平和、紛争解決の調査・研究における、基本的課題（安全保障、民主主義、経済開発、人権、ジェンダーなど）の系統的な理解
- 期間は、9月からの22カ月間

申請資格と選考基準

申請者は、以下を備えていなければなりません。

- 優れた英語力
- 優れたリーダーシップ
- 個人的活動や社会奉仕活動を通じて、また学問上、職務上の実績を通じて、国際理解と平和への熱意を実証
- (専門能力開発修了証プログラム) 優れた学問上の実績と、関連分野における少なくとも合計5年間のフルタイムの職歴
- (修士号取得プログラム) 学士号またはそれに相当する学位、さらに関連分野における少なくとも3年間のフルタイムの職歴またはボランティア経験
- (修士号取得プログラム) 第二言語能力 (日本語を含む)

資格に関する制約

- ロータリー平和センター提携大学で、フェローシップ期間中に博士号を取得することが可能な場合でも、博士課程のためにロータリー平和フェローシップを使用することはできません。修士号プログラムを修了し、博士号の取得を希望している申請者は、平和フェローシップの候補者としてふさわしくありません。
- 元国際親善奨学生と、ロータリー平和センター専門能力開発修了証プログラム (チュラロンコーン大学) の修了者は、プログラム終了後の3年間は、ロータリー平和センター修士号プログラムに申請できません。
- ロータリー平和センター修士号プログラムの修了者は、プログラム終了後の5年間は、専門能力開発修了証プログラム (チュラロンコーン大学) に申請できません。
- 次に該当する人はロータリー平和フェローシップ (修士号取得プログラム) への申請資格がありません。ただし、チュラロンコーン大学の専門能力開発修了証プログラムには申請でき、その場合、プログラムの関連経費は全額自己負担となります。

- ロータリアン、名誉ロータリアン
- ロータリークラブ、ロータリー地区、国際ロータリー、ほかのロータリー関連組織の職員
- 上記2点に該当する生存人物の配偶者、直系卑属（血縁による子または孫、入籍している養子）とその配偶者、直系尊属（血縁による両親または祖父母）
- クラブを退会してから36カ月未満の元ロータリアンおよびその親族

留意点：障害者も申請者となる資格を有しています。

留学国

フェローは、自分が国籍または永住権を保持する国にあるロータリー平和センターで学ぶことはできません。ただし以下の場合には例外となります。

- 日本国籍の人（または日本に在住しているが、日本以外の国で学業を終えた人）が国際基督教大学のロータリー平和センターを志望する場合
- タイ人（またはタイ在住の人）がチュラロンコーン大学のロータリー平和センターを志望する場合

申請者が二重国籍、または自国以外の永住権を取得している場合は、そのどちらの国のロータリー平和センターにも申請できません。

大学からの入学許可

フェローは、指定されたロータリー平和センターがある提携大学への入学許可を得なければなりません。入学許可の決定権は、大学側にあります。いかなる場合においても、選出された平和フェローのために、ロータリー財団が入学手続きに介入することはありません。ただし、チュラロンコーン大学のロータリー平和センターに指定された平和フェローに限り、大学に入学許可を申請する必要はありません。

申請者は、ロータリー平和センタープログラムを修了し、フェローシップ期間の終了時に修士号あるいは修了証が取得できるよう、学業に励まなければなりません。

資金源

ロータリー平和センターは、世界各地のロータリアン、地区、その他の支援者からの寄付によって支えられています。

地区は、候補者を推薦するために、平和センターに資金提供する義務はありません。ただし、DDFの一部を平和フェローシップの支援に配分することが、すべての地区に奨励されています。DDFの寄贈は最低額も最高額も定められておらず、金額は問われません。

2年間に50,000ドルのDDF寄贈または現金寄付を行った地区は、ロータリー平和センター平和推進地区として認証されます。また、その後も毎年25,000ドルを寄贈・寄付することにより、推進地区としての認証を維持することができます。詳しくは、Eメール (rotarypeacecenters@rotary.org) でお問い合わせください。

ロータリー平和センターの支援を目的として財団に寄せられる大口寄付に加え、ロータリアンやロータリー支援者からの寄付によって、平和センターの長期にわたる成功が確かなものとなります。平和センターへの支援に関する詳細は、ウェブサイト (www.rotary.org/ja/promote-peace) よりご確認ください。

候補者の募集と選考

ロータリー平和フェローは、世界競争制の選考過程を経て選ばれます。クラブと地区は、ロータリー平和フェローシップの資格を有すると思われる候補者を何人でも推薦できます。

地区とクラブは、候補者の募集要項を定めることが奨励されています。ロータリー平和フェローシップに関する詳しい情報と関連資料は、ウェブサイト (www.rotary.org/myrotary/ja/support-peace-centers) で見るすることができます。また、ロータリー平和フェローシップのパンフレットは、shop.rotary.org より無料でご注文いただけます。

ロータリー平和フェローシップは、将来のキャリアを通じて、平和と紛争解決の分野で大きな貢献をする見込みがある、さまざまな学問分野や職業出身の人に授与されます。そのため、申請者は、学問研究、ボランティア、職業を通じて、平和と紛争予防／紛争解決に対する強い熱意とリーダーシップに加え、優れた学業成績を証明する必要があります。例として、ロータリー平和フェローは、次のような分野出身の候補者に授与されています。

- 人権、災害救援、支援物資提供、環境保護、難民問題、その他の平和と国際協力に取り組む非営利組織 (NGO)
- 国際組織、国際企業
- 国務、外務、外交、その他の公務に関する政府機関
- 青年海外協力隊のような国際ボランティア組織
- 自衛隊、防衛機関、警察
- 仲裁や、争いの解決を専門とする団体
- 大学の同窓会、キャリアセンター、留学支援の担当課

- 国際教育、国際関係、政治、平和研究、紛争解決に関する学部
- 国際問題、開発、平和構築、紛争解決の分野で活動する元国際親善奨学生や、GSE（研究グループ交換）の元メンバー（ほかの地区から派遣された奨学生やGSEメンバーが地区内で活動している場合もあります）
- 国内紛争や隣国との衝突が発生している地域のクラブや地区は、候補者の推薦が特に強く奨励されています。このような地域出身の候補者は、ロータリー平和センターでの研究と研修を通じて、紛争解決の糸口となる大きな変化をもたらすことができるでしょう。

優れた候補者を募集するには、次のような推進方法があります。

- 上記の平和フェロー出身分野を対象として、情報提供を目的とした会合を開く。
- ソーシャルメディア（フェイスブック、リンクトイン、ツイッターなど）を利用して平和フェローシップを推進する。また、[ロータリー平和センターのフェイスブックページ](#)に掲載される情報や画像をシェア（共有）する。
- 平和、または国際理解の関連トピックにスポットを当てた公開講義や討論会を主催する。
- ロータリー内外の人を対象に平和センターの情報を提供する会合を開き、ゲストスピーカーとして現・元平和フェローを招待する。
- 上記の平和フェロー出身分野の団体に[ロータリー平和フェローシップのパンフレット](#)複数部を送り、内部で配布してもらう。
- 地元メディア（新聞、ラジオ、ケーブルテレビ）や大学のニュースレターに、平和センターに関するプレスリリースを掲載する。また、掲載内容には、平和センターウェブサイトのリンク (www.rotary.org/ja/peace-fellowships) を載せる。
- 上記の団体に、平和センターへのリンクをウェブサイトで紹介してもらうようお願いする。
- 平和フェローを輩出しているロータリー地区のリーダーから、候補者募集と推薦のヒントを聞く。

地区による選考と推薦（必須）

フェローシップの推薦を行うには、平和フェローとなることに関心のある人と地元ロータリアンとのつながりを築くことが大切です。候補者は、ロータリー地区を通じて申請を行う必要があり、直接、ロータリー財団やロータリー平和センターに申請を行うことはできません。地区は、推薦を行う前に、候補者との面接を行う必要があります。また、要件ではありませんが、地元クラブが面接と推薦を行うことも強く奨励されています。

地区は、申請希望者からの連絡を受けた場合、地区に申請を行う締切日（5月31日）を希望者に伝える必要があります。地区リーダーは、各希望者の選考・推薦手続きを円滑に行うために、地元クラブから支援を得ることもできます。また、希望者からクラブに問い合わせがくる可能性があることを、事前にクラブリーダーに伝えておくことも大切です。

ロータリー平和センターに対するクラブの認識が十分でない場合は、地区のロータリー平和フェローシップ小委員会が、平和センターウェブサイトのリンク (www.rotary.org/ja/peace-fellowships) を含む関連情報をクラブにお伝えください。

クラブによる面接と推薦（任意）

申請希望者は、地元のロータリークラブと連絡を取り、クラブからの推薦を受けることが強く奨励されています。地元クラブを探すには、[クラブ検索](#)を利用するか、地区に問い合わせることもできます。

クラブが候補者を見つけた場合（あるいは希望者から連絡を受けた場合）、クラブは、平和フェローシップ申請の目的を確認し、諸手続きについて候補者に説明し、候補者と面接（電話やウェブ会議での面接も可能）を行う必要があります。その後、クラブは、候補者を推薦するための準備を整え、地区に申請を行う締切日（5月31日）までに、地区の選考委員会に提出します。クラブでこれらの手続きを踏むことが困難である場合は、推薦手続きを地区の選考委員会に委ねます。

申請手続き

1. 申請者は、ウェブサイト (www.rotary.org/ja/peace-fellowships) を確認して、資格や申請手順について正しく理解する必要があります。留意点：申請書は12月から7月の間に入手可能となり、その後に手続き上の変更が加えられる場合もあることにご留意ください。
2. 申請者は、ウェブサイトで各ロータリー平和センターのカリキュラムとプログラムをよく調べ、平和センターの志望順位を検討します。
3. 修士号プログラムへの申請者は、大学の成績証明書や試験結果のほか、申請書に記されている希望大学の必要書類を、すべて提出する必要があります。また、各大学と連絡を取り、試験結果を含む必要書類・情報を確認すべきです。専門能力開発修了証プログラムへの申請者は、成績証明書や試験結果を提出する必要はありません。
4. 申請書と補足資料は、英語で記されたものでなければなりません。
5. 申請者は、地元のロータリークラブと連絡を取り、クラブによる推薦をお願いします。地元クラブを探すには、クラブ検索を利用できます。クラブに推薦を依頼する前に、必要とされる申請資料を揃えておくといでしょう。なお、地区から既に推薦を受けている場合は、クラブによる推薦を受ける必要はありません。
6. 地区との面接は必須要件です。そのため申請者は、5月31日までに地区に申請を行う必要があります。地区は面接を行った後、被推薦者に関する必要書類を、7月1日までにロータリー財団に提出します。
7. その後、ロータリー財団による最終選考が行われ、11月にその結果が申請者に通知されます。
8. 最終的に財団によって選出された候補者は、各大学に入学申請を行う必要があります（チュラロンコン大学を除く）。

申請前のチェックリスト

- 申請書
- 履歴書
- 小論文
- 大学の成績証明書 (修士号プログラムの申請者のみ)
- GREの試験結果 (デューク大学、ノースカロライナ大学を志望する場合)
- 修士号プログラム申請者: 推薦書 (職業関係者と学術関係者から1通ずつ)
- 専門能力開発修了証プログラム申請者: 推薦書 (職業関係者から2通、その内1通は現在の雇用者)
- TOEFLまたはIELTSの試験結果 (大学側が必要としている場合)
- 申請者による誓約 (署名と日付入り)
- 地区による面接・推薦フォーム

地区の選考委員会と選考手続き (必須要件)

地区ガバナーと、ロータリー平和フェロースHIP小委員会委員長または地区ロータリー財団委員長は、7月1日までに、英語で不備なく記入された「地区による面接および推薦」フォーム (補遺B) をロータリー財団に提出する必要があります。このフォームは、申請者がオンラインで申請を行う際に、地区の連絡担当者にEメールで送信されます。申請者が紙の申請書に記入する場合は、申請書に含まれている同フォームを使用します (補遺B)。

地区は、選考委員会を設けることで、面接や推薦を効果的に行うことができます。委員会には、少なくとも、地区ガバナーと、ロータリー平和フェロースHIP小委員会委員長または地区ロータリー財団委員長が含まれている必要があります。財団管理委員会は、申請書を審査する委員会メンバーとして、平和フェロースHIP小委員会委員長、現ガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト、地区ロータリー財団委員長、また平和と紛争解決、教育、市民活動や事業界などの分野を専門とするロータリアンあるいはロータリアン以外の3名を含めることを推奨しています。また、国際関係や紛争解決の分野で職務経歴のある元平和フェローを委員会メンバーとして含めることも一案です。可能であれば、申請者の外国語能力を評価する言語力のあるメンバーも含めるとよいでしょう (平和センターのプログラムは英語で行われることにご留意ください)。

面接は、申請者の資格・適正を判断するための最良の方法です。申請者が海外に在住しており、対面式の面接が不可能である場合は、電話やウェブ会議による面接も可能です。地区は、面接を通じて申請者から詳細な回答を得た上で、不備のない候補者情報をロータリー財団に提出する必要があります。

地区は、ロータリーが存在していない地域在住の申請希望者や、地元地区と連絡が取れない申請希望者を推薦することもできます。このような地区外の申請希望者を推薦する場合は、ロータリー平和センター担当職員にご連絡ください (Eメール: rotarypeacecenters@rotary.org)。

候補者との面接：どこに注目するか

候補者を推薦する上で、クラブと地区は、その候補者がロータリー平和センタープログラムの目標にどれほど貢献できるかについて検討すべきです。また、国際理解と平和に対する候補者の熱意を評価し、候補者が将来、政府、企業、教育、報道関係、そのほかの分野でリーダーとなる、あるいはリーダーとしての役割を担える資質があるかどうかを判断します。最終的には、職業や奉仕活動を通じて、国内外での協力、平和活動、紛争解決を前進させるリーダーシップを備えた候補者を選出する必要があります。面接の質問例は、補遺Aをご覧ください。

候補者の学業と職業上の業績を評価する際は、履歴書、小論文、推薦書、面接での回答を吟味し、候補者の関心、職業上の経験、学業、ボランティア経験が平和センターのプログラムにどれほど関連しているかを判断してください。

優れた候補者の例

政治や環境問題に関連する対立状況の緩和を担当した経験があり、より良い社会・環境づくりに関する政策と研修の開発と実施を目標としている公務員

戦争で荒廃した国の貧しい人びとに医療ケアと研修を提供した経験があり、国際公共保健分野でキャリアを築く目標がある医療専門家

サハラ以南のアフリカで、エイズによって配偶者を失い、経済的自立を必要とする人びとのためにマイクロクレジット（小口融資）プログラムを開始した経験があり、貧困緩和を通じた経済発展を推進するキャリアに就くことをめざしているボランティア団体職員

元少年兵のカウンセリングを行った経験があり、将来、和解と寛容のためのプログラムを地域社会で開始することで紛争回避をめざすソーシャルワーカー

紛争回避と紛争解決の方法を考える国防計画に携わった職業軍人

異なる宗教・民族の若者たちの相互理解を深め、争いを防ぐためのプロジェクト推進に従事している教育者

世界競争制に基づく選考

毎年7月～10月に、ロータリアンと各大学の代表者から成るロータリー平和センター委員会が、申請書の審査と平和フェローの最終選考を行います。選考結果は、11月に地区と候補者に通知されます。ただし、最終的な入学許可は各大学の判断に委ねられます。そのため、修士号プログラムの平和フェロー選出が、提携大学への入学を保証するものではないことにご注意ください。平和フェローに選ばれたものの、大学入学を許可されなかった場合、その人はフェローシップを辞退しなければなりません。そのため、フェローに選ばれた人は、提携大学への入学許可が下り、すべての計画が最終的に決定するまで、辞職したり、計画を変更したりすべきではありません。

プログラムのスケジュールと締め切り

クラブは、毎年5月31日までに、平和フェローシップの申請書を地区に提出します。その後、地区は面接と審査を行い、プログラム開始前年の7月1日までに、被推薦者の申請書をロータリー財団に提出します。候補者の募集と選出については、以下のスケジュールが推奨されています。また財団は、締め切り直前にフェローシップについて知った人たちにも申請の機会を与えることができるよう、柔軟にスケジュールを調整することを奨励しています。

候補者推薦までの流れ：プログラム開始前年	
12月～2月	地区とクラブは、優れた候補者を募集するために、プログラムの推進を開始します。推進用パンフレットは、 shop.rotary.org から注文できます。 申請希望者がいる場合は実際に話して、その人の経歴や関心のあるプログラムに関する情報を集め、希望者が申請手続きの詳細を理解できるよう、申請フォームが得られるウェブサイト (www.rotary.org/ja/peace-fellowships) を伝えます。
3月～5月	クラブは、(1) 候補者との面接を行い、5月31日までに地区への推薦を行うか、あるいは (2) 面接は行わず、5月31日までに申請書を地区に提出 (転送) します。 地区は、候補者を募集し、申請書を受け付けます。
3月～5月	地区は、委員会を設置して面接と選考を行い、各候補者の「地区による面接および推薦」フォーム (補遺B) を、7月1日までにロータリー財団に提出します。
7月～10月	ロータリアンと提携大学の代表者から成るロータリー平和センター委員会が申請書を審査し、最終選考を行います。
11月	選考結果が地区と候補者に通知されます。その後、選ばれた候補者は提携大学への入学申請を行います。

リソース

- プログラムの情報と支援方法：www.rotary.org/ja/support-peace-centers
- パンフレットの注文：shop.rotary.org
- フェイスブックページ：www.facebook.com/Rotarycenters
- ニュースレターの定期受信申し込み：www.rotary.org/ja/newsletters-0
- 「平和のためのロータリー行動グループ」のフェイスブックページ：
www.facebook.com/RotarianActionGroupForPeace

補遺

補遺A 面接の質問例

- ロータリー平和フェローシップに関心をもった理由を教えてください。
- 平和の分野で、どのような経験をしてきましたか。それらの経験から何を学びましたか。
- あなたの外国語能力について教えてください。
- あなたの推薦者についてお聞きします。あなたの職業や人生において、これらの推薦者はどのような点で重要だと思いますか。
- キャリアを築き、平和構築者として活動するために、フェローシップにはどのような重要な意味があると思いますか。
- どの提携大学の平和センターに関心がありますか。カリキュラムのどのような点に関心がありますか。
- あなたは、ご自身を平和構築のリーダーとして認識していますか。それはなぜですか。
- 過去にリーダーとして取り組んだ経験があれば教えてください。また、平和を構築していくために、どのようなリーダーになりたいと思いますか。
- ロータリーについて、どのようなことをご存知ですか。ロータリーの目標や使命に沿って活動することはできますか。

地区による面接および推薦（必須）

本報告書は、世界競争制に基づく選考委員会にとって極めて重要な情報資料となります。従って、この報告書には詳細かつ正確に記入してください。ロータリー財団に提出された申請書に添えられた委員会報告書に不備があった場合は、選考委員会による正式な審査の対象とならない可能性もあります。

1. 地区で受理した申請書の数: _____
2. 地区ロータリー平和フェロー小委員会は、この申請者と直接面接を 行いました / 行いませんでした (いずれかに印を付ける)。小委員会が面接を行わなかった場合は、その理由を説明し、候補者を電話やほかの方法で面接したかどうかを記述してください。
3. この候補者と面接して、候補者のどのような資質が理由で、優秀なロータリー平和フェローになれると地区小委員会が判断しましたか。
4. 候補者は、1つの、または複数のロータリー平和センターのカリキュラムについてどの程度知っていますか。また、候補者が特定のセンターを選んだ理由は何ですか。
5. 候補者は、どのようにリーダーシップの資質を示し、平和と紛争解決に対する熱意を見せましたか。また、面接においてそのような資質をどの程度効果的に伝えることができましたか。
6. 候補者の学歴、職歴、リーダーシップ、およびプログラムの目的に対する熱意から判断して、候補者は、政府、企業、教育、報道関係、または本人の選ぶ職業において将来、指導的立場に就く可能性をどの程度秘めていると考えますか。候補者は、世界理解と平和にどのように貢献できると思いますか。

7. この候補者は、どの程度効果的にロータリーを代表できるでしょうか。候補者は、国内外の行事や学会における積極的な参加者としてロータリーを代表する能力を備えていますか。

8. 本候補者についてのユニークな点は何ですか。ほかの候補者ではなく、この候補者を選んだ理由は何ですか。

9. 本候補者に対する綿密な面接に基づき、以下から一つ選択してください。

当地区のロータリー平和フェロースhip小委員会は、本候補者をロータリー平和フェロースhipに**推薦**します。
本申請書をロータリー財団へ転送します。

当地区のロータリー平和フェロースhip小委員会は、本候補者をロータリー平和フェロースhipに**推薦**しません。
本申請書を、統計データを集計するために、ロータリー財団に転送します。

推薦しない場合、その理由を以下に記入してください。

地区ロータリー平和フェロースhip小委員会は、本申請書をロータリー財団に提出する前に、記録のため、本申請書の全ページのコピーをとってください。第7ページの右上に、地区番号を記入してください。

地区による面接および推薦（必須）

当地区は、 _____ さんをロータリー平和フェローシップに推薦し、

候補者の氏名

世界競争制に基づく選考審査のために、本申請書をロータリー財団へ提出します。

当地区は、この候補者に次の事項を説明したことを証します。

1. 現段階において、申請者はあくまで候補者に過ぎず、管理委員会が、財団に提出された地区の推薦を受けた申請者の中から、ロータリー平和フェローシップ受領者を選出すること
2. ロータリー平和センターのうちの1つを最終決定し、指定する権限はロータリー財団管理委員会にあること。派遣地区である当地区は、候補者が希望するセンター、あるいはロータリー財団管理委員会が適切であると判断したセンターのいずれへの指定をも支持すること
3. ロータリー財団は、主に、ロータリー平和フェローが平和と紛争解決に関連した分野における修士号（または相当する学位）、あるいは専門的職業開発修了証を取得し、指導力と職業を通して、将来の平和への長期的かつ効果的影響をもたらせるような養成を目的としていること
4. フェローシップ期間前、支給期間中、および帰国後における派遣地区と受入地区に対するフェローの義務
5. 候補者は自分で、指定されたロータリー平和センター提携大学の入学許可を取得する責任があること（該当する場合）。フェローが指定されたプログラムへの入学許可を取得できなかった場合は、直ちにロータリー平和フェローシップを辞退すること
6. フェローは、指定されたロータリー平和センターが定めるスケジュールに沿って勉学を開始しなければならないこと。ロータリー平和センターにおける修士号プログラムは、2016年7月、8月、9月のいずれかに開始されること（ただし、クイーンズランド大学における平和センターのプログラムは、2017年2月または3月に開始）。専門能力開発修了証プログラムを提供するロータリー平和センターは、2016年1月と6月にプログラムが開始されること
7. 候補者は全プログラムの修了に専心すべきであること
8. フェローシップ支給期間中に配偶者、または扶養家族を伴う場合、その費用は個人負担となること
9. フェローシップの実際の支給額は、授業料と諸費、妥当な生活費、往復旅費、書籍、文房具、その他限られた経費に応じて異なること
10. 当地区は、候補者に対し、ロータリー平和フェローシップに関連して具体的な支給額を約束していないこと

当地区は、ロータリー平和フェローシップに本候補者を推薦し、また、上記の条件を本人に説明したことを証します。
この推薦については地区ガバナーエレクトに報告済みです。

地区ガバナーの氏名 _____ 電話番号 _____ Eメール _____

地区ガバナーの署名 _____ 日付 _____ 地区 _____

以下に、地区ロータリー財団委員会委員長もしくはロータリー平和フェローシップ小委員会委員長の署名が必要です。

地区ロータリー財団委員会委員長の氏名 _____ 電話番号 _____ Eメール _____

地区ロータリー財団委員会委員長の署名 _____ 日付 _____ 地区 _____

または

地区ロータリー平和センター小委員会委員長の氏名 _____ 電話 _____ Eメール _____

地区ロータリー平和センター小委員会委員長の署名 _____ 日付 _____ 地区 _____

本申請書を提出する前に、クラブ（任意）と地区による推薦書を添え、記入漏れのないことをご確認ください。できるだけEメールにて、rotarypeacecenters@rotary.org までご提出ください（添付書類の容量は10メガバイトまで）。ロータリー財団から地区へ、申請書の受理と手続きを確認するEメールが送信されます。地区の推薦を受けた2016年ロータリー平和フェローシップ申請書の財団への提出締切日は、2015年7月1日（ロータリー財団必着）です。



The Rotary Foundation of Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
ファックス: 1-847-556-2177
Eメール: rotarypeacecenters@rotary.org

083-JA-(1114)

**THE ROTARY FOUNDATION
OF ROTARY INTERNATIONAL**

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, Illinois
60201-3698 USA
www.rotary.org